

<広報の学校>

情報接触・メディアのパラダイムシフトと明日の広報
オンライン「入門 明日の広報」講座のご案内
 — デジタルオウンドメディアとペルソナの基礎、開発プロセスを学ぶ —
<ライブ配信、アーカイブ視聴付> 10月27日(水) 13:00~17:00

広報の学校
 (共同ピーアール株式会社)

謹啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

従来のマスメディアを介しての情報接触の流れは、ネット、とりわけスマホとソーシャルメディアの登場によって劇的なパラダイムシフトが起っています。マスメディアだけが情報を独占した時代はすでに終わり、情報の受け手だった生活者が情報(コンテンツ)の作成・流通・拡散の主人公になりました。

コミュニケーションモデルが大きく変化中、企業の広報活動も、ターゲットはマスからクラスター(同一テーマに関心のある小さなコミュニティ)へ、手法はマスメディア経由のパブリシティ中心からコンテンツファーストで SNS 経由でダイレクトにつながる方向へ、広報モデルは知らせる(伝える)広報から共感・対話の広報へと、発想を大きく転換する「明日の広報」の視点が求められています。

Web3.0 の時代、企業のメッセージ発信の基幹媒体は、コーポレートサイトからオウンドメディアに移行しつつあります。従来のように不特定多数のユーザーに一般的な情報を提供するのではなく、もっとも重要なユーザーにピンポイントで的確なメッセージを発信することが求められているからです。

ユーザーとの深い関係構築(ファンづくり)を得意とするオウンドメディアは、幅広い接点づくりに有効なソーシャルメディアとの相性も良好です。ソーシャルメディアを通して形成したコミュニティから「次のステップ」へユーザーを連れ出し、企業ブランドの理解や商品・サービスへの興味を促してくれるのです。

広報の学校では、こうしたメディアと情報接触(コミュニケーションモデル)の劇的変化を踏まえた、広報活動の新たなモデルを考えるオンライン「入門 明日の広報」講座を開催します。

広報実務教育の一環としてご参加くださいますようご案内申し上げます。

※当日のライブ配信に加えて、アーカイブ視聴期間中(1ヶ月)は何度でも繰り返し視聴ができます。

敬具

オンライン「入門 明日の広報」講座 実施概要

■対象者： 広報、マーケティング、企業 WEB サイト、オウンドメディアの担当者・責任者

■本講座の特色： ①情報接触・メディアのパラダイムシフトを理解する
 ②広報の変化と「明日の広報」の方向性と戦略を学ぶ
 ③デジタルオウンドメディアの基礎知識を身に着ける
 ④ペルソナの基礎を理解し、開発プロセスを学ぶ

■日時： 2021年10月27日(水) 13:00~17:00

■講座概要： 詳細はカリキュラムをご覧ください。

■講師： 篠崎 良一 広報の学校学校長(共同ピーアール株式会社)
 広報コンサルタント、危機管理広報コンサルタント、メディアトレーナー
 菊地 史彦 株式会社ケイズワーク代表取締役、東京経済大学大学院講師

■受講料： 35,000 円 (消費税、レジュメ代含む)

■申込方法： ウェブサイト上の特設ページからお手続きください。

⇒ インターネット検索サイトで「共同ピーアール セミナー」と検索し、申込フォームにお進み下さい

アドレス： <https://www.kyodo-pr.co.jp/seminar>

※お申込み受付後に自動返信メールにてお申込確認情報が届きます。

■申込締切: **10月20日(水)必着**

■支払方法: 請求書をPDFでお送りします。記載のお支払い期限までにお振込みください。

※郵送をご希望の場合には、その旨記載ください。

《振込先》 みずほ銀行(0001) 八重洲口支店(026) 普通預金 口座番号:2677982

口座名: 共同ピーアール株式会社 セミナー口

●ライブ配信概要

・配信は、リアルタイム中継映像となります。

セミナー終了後、アーカイブ視聴期間(1ヶ月間)にて視聴することができます。

ライブ中継を見逃した方、繰り返し受講されたい方はご活用ください。アーカイブ視聴期間は別途ご連絡いたします。

・セミナー配布資料(PDF)はダウンロード可能です。(事前にプリントアウトしてご参加ください)

・1IDで1ユーザーのみ視聴が可能です。(1IDで複数の方は受講できません)

・お申し込みの前に必ずインターネット環境をお確かめください。

セキュリティの設定や、動作環境によってはご視聴いただけない場合があります。

以下のサンプル動画が閲覧できるか、事前にご確認の上、お申し込みください。

●テスト視聴サイト

<https://deliveru.jp/pretest5/>

ID livetest55 PW livetest55

※当日に「閲覧できません」旨ご連絡をいただいても、応じかねますので必ず事前にご確認ください。

●推奨環境について

今回の動画配信は、株式会社ファシオの配信プラットフォーム「Deliveru」を利用しています。

推奨環境・ご質問は下記 URL をご参照ください。

◎推奨環境 <https://deliveru.jp/faq/#Q7> ◎よくあるご質問 <https://deliveru.jp/faq/>

<お問い合わせ先> メールでご連絡ください。担当が一両日中にはご返信をいたします。

「広報の学校」事務局 seminar@kyodo-pr.co.jp

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 10F

オンライン「入門 明日の広報」講座 カリキュラム

		テーマ	内 容	講師
第 1 部	Chapter1 13:00~13:50	情報接触・メディアの パラダイムシフト	情報接触のパラダイムシフト／信頼社会の構造変化／生活者の変化（マスの消滅とコネクテッドカスタマーの登場）／メディアの利用実態／メディアの変化／SNSの特性／PESOモデル	篠崎 良一
	13:50~14:00	休 憩		
	Chapter2 14:00~14:50	広報の変化と明日の広報	変化の背景／広報環境の変化／明日の広報／戦略	
		休 憩		
第 2 部	Chapter1 15:00~15:50	オウンドメディアとは？ ユーザーをつかむコンテンツとは？	オウンドメディアとは何か？／企業と顧客の関係はどう変わったか？／メディアモデルで考える／ユーザー目線でコンテンツを捉え直す／改めてコンテンツとは？／顧客志向のカギはコンテンツ／コンテンツはプログラム／顧客をつかむメディア・コンテンツ	菊地 史彦
	15:50~16:00	休 憩		
	Chapter2 16:00~17:00	コンテンツ開発のステップ ペルソナによるコンテンツ開発	課題抽出／目的定義／環境分析／ユーザー定義／コンテンツ設計／運用設計／ユーザー集客方法／SEO／SNS(企業ページ・インフルエンサー活用)／ペルソナとは何か？／セグメントとペルソナ／ペルソナの要素／ペルソナの開発プロセス／スケルトンからストーリーを書く／ゴールを付け加える／ペルソナとシナリオの関係／シナリオを発想する／シナリオからコンテンツ／コンテンツの「ネタ出し」／メディア・コンセプト開発／コンテンツ制作手順	

講師プロフィール

篠崎 良一

**広報の学校 学校長（共同ピーアール株式会社）
広報コンサルタント、危機管理広報コンサルタント、メディアトレーナー**

早稲田大学第一文学部社会学専攻卒。出版社（日本実業出版社、ローリングストーンジャパン）を経て、共同ピーアール(株)入社。取締役副社長を経て現職。

2003年5月『広報の学校』を開校。1993年4月『危機管理広報部門』を創設。2003年5月『広報の学校』を開校。2013年1月『PR総研』を創設。企業・団体の広報・危機管理コンサルティング、広報・危機管理研修担当。

著書に『入門メディアトレーニング』（アニモ出版）、『実践企業広報マニュアル』、『会社を守る！もしものときのメディア対応策』（共にインデックス・コミュニケーションズ）、『広報・PR概説』（共著、同友館）、『広報・PR実践』（共著、同友館）、『パブリックコミュニケーションの世界』（共著、北樹出版）他がある。

菊地 史彦

株式会社ケイズワーク代表取締役、東京経済大学大学院講師

慶應義塾大学卒業。筑摩書房、編集工学研究所勤務を経て、1999年、ケイズワークを設立し、代表取締役に就任。企業コミュニケーション、ブランディング、ナレッジマネジメントを主要分野にコンサルティングやメディア制作業務などを行ってきた。

2003年に企業変革を促進するインナーコミュニケーションのコンセプト”Change Communication”を提唱し、翌年から当社メールマガジン K's Letter に「コーポレートビジョンを訪ね歩いて」や「コミュニケーション思想の先駆者たち」を連載。なお、2000年には株式会社ビジネスカフェジャパン、2006年には株式会社ラジオカフェ設立に参加。

東京経済大学大学院(コミュニケーション研究科)講師、国際大学 GLOCOM 客員研究員。

企業研修の分野では、ケイズワーク創業以来、情報編集・提案営業・プレゼンテーションなどのテーマで、研修講師を務めてきたが、2010年、「ロジカル・ライティング」のカリキュラムを新たに構築し、製造業・流通業・サービス業など他分野の企業で研修を行ってきた。共同ピーアール「広報の学校」では、毎春・秋に「ロジカル・ライティング基礎講座」と「リライトと取材・文章編集講座」の両講座を担当している。

著書:『「若者」の時代』(トランスビュー 2015年)、『「幸せ」の戦後史』(トランスビュー 2013年)

共著:『情報文化の学校』(NTT出版 1998年)